

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 日本興亜損害保険株式会社
 コード番号 8754 URL <http://www.nipponkoa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 兵頭 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計グループリーダー (氏名) 田村 和久
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東 大名

TEL (03)3593-5127

(金額は単位未満切捨、諸比率は四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	720,852	—	10,912	—	19,798	—
20年3月期第3四半期	738,329	—	34,887	—	20,773	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	26.05	26.02
20年3月期第3四半期	26.76	26.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	3,187,652	402,142	12.6	533.63
20年3月期	3,323,190	543,198	16.3	711.58

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 401,468百万円 20年3月期 542,391百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	7.50	7.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	950,000	△2.6	14,000	△21.1	9,000	0.1	11.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 816,743,118株 20年3月期 816,743,118株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 64,414,503株 20年3月期 54,517,315株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 759,759,181株 20年3月期第3四半期 776,190,737株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであるため、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)並びに同規則第61条及び第82条の規定に基づき「保険業法施行規則」(平成8年大蔵省令第5号)に準拠して、四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1．連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱や世界経済の減速を背景として、企業収益が減少したほか、民間設備投資や個人消費も減速基調で推移するなか、第3四半期連結会計期間には輸出や生産が大幅に減少し、雇用環境も急速に悪化するなど、景気は後退色を強めてまいりました。

このような中で、当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

経常収益は、保険引受収益が6,704億円、資産運用収益が489億円、その他経常収益が14億円となった結果、7,208億円となりました。

一方、経常費用は、保険引受費用が5,640億円、資産運用費用が391億円、営業費及び一般管理費が1,059億円、その他経常費用が7億円となった結果、7,099億円となりました。

以上の結果、経常利益は109億円となり、これに特別損益を加減し、税効果会計による調整後の法人税等及び少数株主利益を控除した四半期純利益は197億円となりました。

損害保険事業については、全種目計での正味収入保険料が5,062億円となり、正味支払保険金が3,038億円となりました。また、主要種目である自動車保険については、正味収入保険料が2,518億円となり、正味支払保険金が1,526億円となりました。

一方、生命保険事業については、生命保険料が473億円となり、生命保険金等が81億円となりました。

2．連結財政状態に関する定性的情報

株式相場の下落などにより、前連結会計年度末に比べて、その他有価証券評価差額金が1,491億円減少したことから、総資産は1,355億円減少し、3兆1,876億円となりました。

3．連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月19日公表の予想数値から変更ありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）並びに同規則第61条及び第82条の規定に基づき「保険業法施行規則」（平成8年大蔵省令第5号）に準拠して、四半期連結財務諸表を作成しております。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

「リース取引に関する会計基準」の適用

当社における所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属するものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。この変更による当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	91,024	104,768
コールローン	31,208	46,000
買現先勘定	48,980	5,997
債券貸借取引支払保証金	40,912	—
買入金銭債権	17,356	23,983
金銭の信託	80,075	82,662
有価証券	2,254,859	2,536,140
貸付金	243,482	225,514
有形固定資産	127,500	130,377
無形固定資産	1,265	1,270
その他資産	176,228	167,567
繰延税金資産	76,692	1,203
貸倒引当金	△1,933	△2,295
資産の部合計	3,187,652	3,323,190
負債の部		
保険契約準備金	2,587,540	2,642,404
支払備金	290,380	292,584
責任準備金等	2,297,160	2,349,819
その他負債	168,359	71,482
退職給付引当金	22,608	36,411
賞与引当金	1,589	6,209
役員賞与引当金	—	8
特別法上の準備金	5,149	21,062
価格変動準備金	5,149	21,062
繰延税金負債	41	1,972
負ののれん	219	439
負債の部合計	2,785,510	2,779,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,249	91,249
資本剰余金	46,702	46,702
利益剰余金	179,873	165,741
自己株式	△58,196	△51,592
株主資本合計	259,628	252,099
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140,855	289,992
繰延ヘッジ損益	4,494	1,790
為替換算調整勘定	△3,510	△1,492
評価・換算差額等合計	141,839	290,291
新株予約権	294	408
少数株主持分	379	398
純資産の部合計	402,142	543,198
負債及び純資産の部合計	3,187,652	3,323,190

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
経常収益	720,852
保険引受収益	670,437
(うち正味収入保険料)	506,273
(うち収入積立保険料)	43,230
(うち積立保険料等運用益)	19,186
(うち生命保険料)	47,372
(うち支払備金戻入額)	1,765
(うち責任準備金等戻入額)	51,677
資産運用収益	48,928
(うち利息及び配当金収入)	47,872
(うち金銭の信託運用益)	690
(うち有価証券売却益)	19,276
(うち積立保険料等運用益振替)	△19,186
その他経常収益	1,486
経常費用	709,940
保険引受費用	564,039
(うち正味支払保険金)	303,888
(うち損害調査費)	26,601
(うち諸手数料及び集金費)	88,777
(うち満期返戻金)	134,430
(うち生命保険金等)	8,173
資産運用費用	39,158
(うち金銭の信託運用損)	3,879
(うち有価証券売却損)	7,203
(うち有価証券評価損)	21,514
営業費及び一般管理費	105,942
その他経常費用	799
(うち支払利息)	164
経常利益	10,912
特別利益	16,095
特別法上の準備金戻入額	15,912
価格変動準備金戻入額	15,912
その他	183
特別損失	323
税金等調整前四半期純利益	26,684
法人税及び住民税等	3,572
法人税等調整額	3,284
少数株主利益	28
四半期純利益	19,798

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	26,684
減価償却費	5,193
減損損失	134
のれん償却額	△219
支払備金の増減額 (△は減少)	△1,796
責任準備金等の増減額 (△は減少)	△52,483
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△357
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△20,975
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,619
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	△15,912
利息及び配当金収入	△47,872
有価証券関係損益 (△は益)	12,181
支払利息	164
為替差損益 (△は益)	1,156
有形固定資産関係損益 (△は益)	5
貸付金関係損益 (△は益)	37
金銭の信託関係損益 (△は益)	3,785
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△1,356
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△541
その他	7,196
小計	△89,603
利息及び配当金の受取額	48,400
利息の支払額	△133
法人税等の支払額	△7,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	△49,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	
預貯金の純増減額 (△は増加)	△1,934
買入金銭債権の取得による支出	△990
買入金銭債権の売却・償還による収入	6,362
金銭の信託の増加による支出	△13,400
金銭の信託の減少による収入	12,040
有価証券の取得による支出	△579,415
有価証券の売却・償還による収入	618,362
貸付けによる支出	△60,840
貸付金の回収による収入	42,835
債券貸借取引支払保証金・受入担保金の純増減額	55,234
資産運用活動計	78,253
営業活動及び資産運用活動計	28,944
有形固定資産の取得による支出	△2,930
有形固定資産の売却による収入	496
その他	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	75,771

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△6,766
自己株式の売却による収入	88
配当金の支払額	△5,716
少数株主への配当金の支払額	△12
その他	△262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,274
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	12,517
現金及び現金同等物の期首残高	140,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	153,342

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）並びに同規則第61条及び第82条の規定に基づき「保険業法施行規則」（平成8年大蔵省令第5号）に準拠して、四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	損害保険事業 （百万円）	生命保険事業 （百万円）	計 （百万円）	消去 （百万円）	連結 （百万円）
経常収益					
(1) 外部顧客に対する経常収益	699,085	55,089	754,174	(33,322)	720,852
(2) セグメント間の内部経常収益	677	17	694	(694)	-
計	699,762	55,106	754,869	(34,016)	720,852
経常利益	10,810	101	10,912	-	10,912

- (注) 1. 事業区分は、当社及び連結子会社における業務の実態を勘案して区分しております。
2. 各事業区分の主要な事業内容
(1) 損害保険事業・・・損害保険引受業務及び資産運用業務
(2) 生命保険事業・・・生命保険引受業務及び資産運用業務
3. 当第3四半期連結累計期間における外部顧客に対する経常収益の消去欄の金額のうち主なものは、「生命保険事業」に係る経常費用のうちの責任準備金等繰入額を四半期連結損益計算書上は経常収益のうちの責任準備金等戻入額に含めて表示したことによる振替額であります。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

全セグメントの経常収益の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

海外売上高（経常収益）が、連結売上高（経常収益）の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
		金 額
経常収益		738,329
保険引受収益		686,221
(うち正味収入保険料)	(530,612)
(うち収入積立保険料)	(53,613)
(うち積立保険料等運用益)	(19,589)
(うち生命保険料)	(47,312)
(うち支払備金戻入額)	(5,264)
(うち責任準備金等戻入額)	(29,486)
資産運用収益		51,329
(うち利息及び配当金収入)	(47,974)
(うち金銭の信託運用益)	(1,436)
(うち有価証券売却益)	(19,717)
(うち積立保険料等運用益振替)	(19,589)
その他経常収益		778
経常費用		703,441
保険引受費用		584,897
(うち正味支払保険金)	(314,233)
(うち損害調査費)	(27,435)
(うち諸手数料及び集金費)	(93,968)
(うち満期返戻金)	(140,694)
(うち生命保険金等)	(8,191)
資産運用費用		9,810
(うち金銭の信託運用損)	(1,773)
(うち有価証券売却損)	(3,576)
(うち有価証券評価損)	(3,959)
営業費及び一般管理費		108,068
その他経常費用		664
(うち支払利息)	(31)
経常利益		34,887
特別利益		170
特別損失		2,857
特別法上の準備金繰入額		2,016
価格変動準備金	(2,016)
その他		840
税金等調整前四半期純利益		32,201
法人税及び住民税等		10,005
法人税等調整額		1,382
少数株主利益		40
四半期純利益		20,773

6. その他の情報

(1) 当四半期の損益状況（連結）

（単位：百万円）

区 分		前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	比較増減	増減率
経 常	保 険 引 受 収 益	686,221	670,437	15,783	2.3
	（うち正味収入保険料）	(530,612)	(506,273)	(24,338)	(4.6)
	（うち収入積立保険料）	(53,613)	(43,230)	(10,382)	(19.4)
	（うち生命保険料）	(47,312)	(47,372)	(59)	(0.1)
	保 険 引 受 費 用	584,897	564,039	20,858	3.6
	（うち正味支払保険金）	(314,233)	(303,888)	(10,345)	(3.3)
	（うち損害調査費）	(27,435)	(26,601)	(833)	(3.0)
	（うち諸手数料及び集金費）	(93,968)	(88,777)	(5,190)	(5.5)
	（うち満期返戻金）	(140,694)	(134,430)	(6,264)	(4.5)
	（うち生命保険金等）	(8,191)	(8,173)	(17)	(0.2)
損	資 産 運 用 収 益	51,329	48,928	2,401	4.7
	（うち利息及び配当金収入）	(47,974)	(47,872)	(102)	(0.2)
	（うち有価証券売却益）	(19,717)	(19,276)	(441)	(2.2)
	資 産 運 用 費 用	9,810	39,158	29,347	299.1
	（うち有価証券売却損）	(3,576)	(7,203)	(3,627)	(101.4)
	（うち有価証券評価損）	(3,959)	(21,514)	(17,555)	(443.3)
益	営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	108,068	105,942	2,125	2.0
	そ の 他 経 常 損 益	114	687	572	501.0
	経 常 利 益	34,887	10,912	23,975	68.7
特 別 損 益	特 別 利 益	170	16,095	15,924	9,314.6
	特 別 損 失	2,857	323	2,533	88.7
	特 別 損 益	2,686	15,772	18,458	-
	税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	32,201	26,684	5,516	17.1
	法 人 税 及 び 住 民 税 等	10,005	3,572	6,432	64.3
	法 人 税 等 調 整 額	1,382	3,284	1,901	137.5
	少 数 株 主 利 益	40	28	11	28.2
	四 半 期 純 利 益	20,773	19,798	974	4.7

（注）当第3四半期連結累計期間との比較の便を考慮し、前第3四半期連結累計期間についても当第3四半期連結累計期間と同様の基準による数値を記載しております。

連結

(2) 種目別保険料・保険金（連結）

元受正味保険料（除く収入積立保険料）

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)率(%)
火災	92,938	16.6	6.6	92,215	17.2	0.8
海上	18,098	3.2	4.5	16,357	3.1	9.6
傷害	43,875	7.8	5.0	41,227	7.7	6.0
自動車	255,558	45.6	1.2	252,202	47.1	1.3
自動車損害賠償責任	80,799	14.4	1.4	64,289	12.0	20.4
その他	69,256	12.4	2.7	69,052	12.9	0.3
合計	560,526	100.0	1.5	535,345	100.0	4.5

正味収入保険料

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)率(%)
火災	71,537	13.5	8.7	70,798	14.0	1.0
海上	15,878	3.0	4.4	14,497	2.9	8.7
傷害	44,423	8.4	4.7	41,519	8.2	6.5
自動車	255,448	48.1	1.3	251,804	49.7	1.4
自動車損害賠償責任	77,649	14.6	0.9	63,229	12.5	18.6
その他	65,674	12.4	3.9	64,422	12.7	1.9
合計	530,612	100.0	1.8	506,273	100.0	4.6

正味支払保険金

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)率(%)
火災	34,152	10.9	21.2	29,623	9.7	13.3
海上	6,342	2.0	3.7	5,265	1.7	17.0
傷害	22,860	7.3	5.4	24,490	8.1	7.1
自動車	156,750	49.8	1.8	152,676	50.2	2.6
自動車損害賠償責任	56,721	18.1	3.2	56,112	18.5	1.1
その他	37,406	11.9	0.6	35,721	11.8	4.5
合計	314,233	100.0	2.2	303,888	100.0	3.3

(注) 1. 上記各表の諸数値はセグメント間の内部取引を相殺する前の数値であります。

2. 上記各表の諸数値は、当第3四半期連結累計期間との比較の便を考慮し、前第3四半期連結累計期間についても当第3四半期連結累計期間と同様の基準による数値を記載しております。

(3) 有価証券関係（連結）

満期保有目的の債券で時価のあるもの

種 類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
	四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	時 価 (百万円)	差 額 (百万円)
公 社 債	220,356	238,848	18,491
外国証券	-	-	-
合 計	220,356	238,848	18,491

責任準備金対応債券で時価のあるもの

種 類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
	四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	時 価 (百万円)	差 額 (百万円)
公 社 債	4,534	4,835	301
外国証券	-	-	-
合 計	4,534	4,835	301

その他有価証券で時価のあるもの

種 類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
	取得原価 (百万円)	四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	差 額 (百万円)
公 社 債	1,003,370	1,027,241	23,870
株 式	352,633	575,599	222,966
外国証券	331,193	302,664	28,529
そ の 他	16,272	15,945	326
合 計	1,703,470	1,921,451	217,981

(注)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	
1	．その他有価証券で時価のあるものについて21,281百万円減損処理を行っております。なお、時価のある有価証券の減損にあたっては、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。
2	．四半期連結貸借対照表において買入金銭債権として処理されている貸付債権信託受益権等を「その他」に含めております。

(4) 金銭の信託関係（連結）

満期保有目的の金銭の信託
該当事項はありません。

運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

種 類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
	取得原価 (百万円)	四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	差 額 (百万円)
金銭の信託	37,000	36,926	73

(注)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	
上記記載以外に取得原価をもって四半期連結貸借対照表に計上している合同運用の金銭の信託が1,481百万円あります。	

(5) デリバティブ取引関係（連結）

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況

対象物の種類	取引の種類	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		
		契約額等 (百万円)	時 価 (百万円)	評価損益 (百万円)
通 貨	為替予約取引			
	売 建	2,518	2,548	29
金 利	スワップ取引	15,000	139	139
その他	クレジットデリバティブ取引			
	売 建	7,000	264	264
	買 建	3,186	923	923
	小 計	-	-	659
合 計		-	-	769

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は開示の対象から除いております。

(6) 当四半期の損益状況(単体)

(単位:百万円)

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料) (元受正味保険料)	603,361 (549,748)	567,517 (524,286)	35,844 (25,462)	5.9 (4.6)
経 保 險 引 受 収 益	663,575	648,490	15,085	2.3
(うち正味収入保険料)	(522,998)	(497,880)	(25,118)	(4.8)
(うち収入積立保険料)	(53,613)	(43,230)	(10,382)	(19.4)
(うち支払備金戻入額)	(4,924)	(2,261)	(2,662)	(54.1)
(うち責任準備金戻入額)	(62,442)	(85,922)	(23,480)	(37.6)
常 保 險 引 受 費 用	567,573	546,063	21,509	3.8
(うち正味支払保険金)	(309,924)	(299,607)	(10,316)	(3.3)
(うち損害調査費)	(26,880)	(25,997)	(882)	(3.3)
(うち諸手数料及び集金費)	(89,869)	(84,249)	(5,620)	(6.3)
(うち満期返戻金)	(140,694)	(134,430)	(6,264)	(4.5)
損 資 産 運 用 収 益	46,007	41,834	4,173	9.1
(うち利息及び配当金収入)	(43,244)	(42,326)	(917)	(2.1)
(うち有価証券売却益)	(19,599)	(18,236)	(1,363)	(7.0)
資 産 運 用 費 用	11,429	41,171	29,741	260.2
(うち有価証券売却損)	(3,576)	(7,197)	(3,621)	(101.3)
(うち有価証券評価損)	(3,944)	(21,474)	(17,529)	(444.4)
(うち金融派生商品費用)	(210)	(4,420)	(4,209)	(1,996.9)
(うち投資損失引当金繰入額)	(1,634)	(2,063)	(429)	(26.3)
益 営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	96,637	93,837	2,799	2.9
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(91,955)	(89,290)	(2,664)	(2.9)
そ の 他 経 常 損 益	458	1,171	713	155.8
経 常 利 益	34,401	10,424	23,977	69.7
(保険引受利益)	(4,516)	(12,561)	(8,045)	(178.1)
特 特 別 利 益	170	16,152	15,981	9,347.8
(うち価格変動準備金戻入額)	(-)	(15,969)	(15,969)	(-)
特 特 別 損 失	2,783	309	2,474	88.9
(うち価格変動準備金繰入額)	(1,964)	(-)	(1,964)	(100.0)
益 特 別 損 益	2,612	15,843	18,456	-
税 引 前 四 半 期 純 利 益	31,788	26,267	5,521	17.4
法 人 税 及 び 住 民 税	9,702	2,617	7,085	73.0
法 人 税 等 調 整 額	2,054	4,136	2,082	101.4
四 半 期 純 利 益	20,031	19,512	519	2.6
諸 正 味 損 害 率	64.4%	65.4%	1.0%	
比 正 味 事 業 費 率	34.8%	34.9%	0.1%	

- (注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税等相当額などでありませう。
 2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) / 正味収入保険料 × 100
 3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) / 正味収入保険料 × 100
 4. 当第3四半期累計期間との比較の便を考慮し、前第3四半期累計期間についても当第3四半期累計期間と同様の基準による数値を記載しております。

(7) 種目別保険料・保険金（単体）

元受正味保険料（除く収入積立保険料）

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)
火災	91,393	16.6	6.8	90,761	17.3	0.7
海上	15,374	2.8	0.7	14,084	2.7	8.4
傷害	43,778	8.0	5.0	41,131	7.8	6.0
自動車	249,927	45.4	1.3	245,722	46.9	1.7
自動車損害賠償責任	80,799	14.7	1.4	64,289	12.3	20.4
その他	68,474	12.5	2.5	68,297	13.0	0.3
合計	549,748	100.0	1.7	524,286	100.0	4.6

正味収入保険料

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)
火災	71,389	13.6	8.4	70,555	14.2	1.2
海上	14,421	2.8	2.4	13,221	2.7	8.3
傷害	44,365	8.5	4.7	41,457	8.3	6.6
自動車	249,884	47.8	1.4	245,392	49.2	1.8
自動車損害賠償責任	77,498	14.8	1.0	63,104	12.7	18.6
その他	65,439	12.5	3.8	64,148	12.9	2.0
合計	522,998	100.0	1.9	497,880	100.0	4.8

正味支払保険金

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
	金額 (百万円)	対前年増減 ()率(%)	正味 損害率(%)	金額 (百万円)	対前年増減 ()率(%)	正味 損害率(%)
火災	34,003	21.7	51.5	29,681	12.7	45.6
海上	5,832	6.8	41.6	4,886	16.2	38.1
傷害	22,822	5.3	56.1	24,462	7.2	64.4
自動車	153,419	1.6	67.3	149,027	2.9	66.5
自動車損害賠償責任	56,600	3.2	77.2	55,984	1.1	93.7
その他	37,245	1.9	62.9	35,564	4.5	61.4
合計	309,924	2.1	64.4	299,607	3.3	65.4

(注) 1. 正味損害率は、正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

2. 上記各表の諸数値は、当第3四半期累計期間との比較の便を考慮し、前第3四半期累計期間についても当第3四半期累計期間と同様の基準による数値を記載しております。

(ご参考) 当社における証券化商品等への投資及びサブプライムローン関連投資の状況(平成20年12月末)

平成20年12月末の当社における証券化商品等への投資状況は以下のとおりであります。

なお、連結子会社における保有はいずれもありません。

1. C D O (債務担保証券)

(単位:億円)

	平成20年12月末(平成20年度第3四半期)			(参考)平成20年3月末(平成19年度)		
	時価	含み損益	減損処理額等	時価	含み損益	減損処理額等
C D O	101	8	55	160	20	39
格付があるもの	77	8	26	102	13	28
格付がないもの	23	-	28	57	7	10

(注) 1. 時価のある有価証券の減損にあたっては、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。

2. 格付のあるC D Oの格付別内訳は、A A A52%、A A40%、A8%であります。

3. C D Oの担保の種類は、大半(74%)がコーポレートを裏付け資産とするものです。

4. C D Oの地域別内訳は、国内43%、海外57%であります。

5. C D Oについては、ヘッジ取引を含むものはありません。

6. 格付別内訳、担保の種類及び地域別内訳の割合は、時価により算出しております。

7. 減損処理額等は有価証券評価損及び金融派生商品費用として処理した金額を記載しております。

2. C M B S (商業用不動産担保証券)

(単位:億円)

	平成20年12月末(平成20年度第3四半期)			(参考)平成20年3月末(平成19年度)		
	時価	含み損益	減損処理額等	時価	含み損益	減損処理額等
C M B S	153	3	-	210	0	-
国内	153	3	-	210	0	-
海外	-	-	-	-	-	-

3. C D S (クレジット・デフォルト・スワップ)

C D Sのうち、C D O等の証券化商品を参照しているものの保有はありません。

企業単一のクレジットを参照するC D S(売建想定元本70億円、時価 2億円、評価損益 2億円)を保有しております。

4. その他の関連投資

S P E s、レバレッジド・ファイナンス、金融保証、モノラインが保証する債券・証券化商品、その他のサブプライム・オルトAエクスポージャーはいずれも保有しておりません。

5. 上記1~4のうち、サブプライムローン関連の投資状況

上記1~4のうち、サブプライムローン関連の投資状況は以下のとおりです。

上記1. C D Oのうち、サブプライムローン関連のクレジットが7%組み込まれたC D Oを1件10億円(取得原価)保有しております。当社が投資している対象はA Aの高格付で、下位にはバッファーとなる劣後クラスが存在することから、決算上の損益への影響はありません。

(単位:億円)

	平成20年12月末(平成20年度第3四半期)			(参考)平成20年3月末(平成19年度)		
	時価	含み損益	減損処理額等	時価	含み損益	減損処理額等
C D O(格付があるもの)	7	2	-	8	1	-

【各種証券化商品の用語について】

- ・ C D O : Collateralized Debt Obligation、多数の債券やローンを集めて資産プールを作り、これを裏付け資産として証券化した証券。なお、当社が保有するC D Oの内、格付がないものはC L O (Collateralized Loan Obligation、多数のローンを裏付け資産として証券化した証券)のエクイティ部分を示す。
- ・ C M B S : Commercial Mortgage-Backed Security、商業用不動産に対するローン債権を証券化した商品。
- ・ C D S : Credit Default Swap、企業や証券化商品等を参照組織とし、そのクレジットを取引するスワップ契約。
- ・ S P E s : Special Purpose Entities、S I V (Structured Investment Vehicle)等、証券化商品等への投資を専門に行う特別目的事業体の総称。
- ・ モノライン : 金融保証(債券や証券化商品等の保証)に特化した保険会社。

以上